

第58回大阪大学公開講座

世界を読み解く10の視点
暮らしと未来を考える

21世紀懷徳堂発！

大阪大学 中之島センター

2026年

9月28日(月)～12月25日(金)

江戸時代中後期に 活躍した懷徳堂ゆかりの 人物たち

大阪大学の精神的源流の一つである「懷徳堂」は、1724年、大坂の商人たちによって創設された学問所です。身分の枠を超えて学問を通じた自己研鑽を志し、やがて幕府の公認を受け、大坂の知の拠点として発展しました。多くの門下生を輩出したこの懷徳堂にゆかりのある人物たちをご紹介します。

なかい ちくざん
中井 竹山 (1730-1804)

儒学者であり、懷徳堂四代目学主。懷徳堂の黄金期を築いた。中井鑒庵の長男として懷徳堂で生まれる。



上段左

とみなが なかもと
富永 仲基 (1715-1746)

思想家。懷徳堂を創設した五同志の一人である富永芳春の三男。弟の荒木定堅とともに三宅石庵に学んだ。



上段中央

なかい りけん
中井 履軒 (1732-1817)

儒学者。兄の竹山とともに五井蘭洲のもとで朱子学を学ぶ。後に私塾水哉館を開き、学者としての功績を残した。



上段右

うえだ あきなり
上田 秋成 (1734-1809)

『雨月物語』の作者。近世日本文学を代表する文芸家。五井蘭洲に国学を学んだとされる。



下段左

やまがた ぼんとう
山片 蟠桃 (1748-1821)

中井竹山・履軒を師と仰ぎ、懷徳堂の門人たちの中でも、極めて高いレベルの学識を残した。



下段中央

くさま なおかた
草間 直方 (1753-1831)

若いうちから懷徳堂で中井竹山・履軒に学び、山片蟠桃と並んでその学識が高く評価された。



下段右

主催：大阪大学
企画：大阪大学 21世紀懷徳堂



21世紀懷徳堂
ウェブサート

<https://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/>

第58回テーマ 21世紀懷徳堂発！ 世界を読み解く10の視点 ～暮らしと未来を考える～

大坂町人の出資によって設立された学問所「懷徳堂」の精神を受け継ぐ本講座は、研究の最前線を共有し、参加者との対話から新たな視点や課題を見出す交流の場です。今年は、性と生命、暗号、やわらかい物質、ゲノム編集、群集マネジメント、再生医療、戦争、旅や市場の変遷など、身近なテーマで全10回。変化の時代を生きる今、私たちは何を知り、どう向き合うべきなのか。暮らしと最先端研究をつなぎながら、未来へのヒントをともに探求しませんか？

様々な角度から身近な暮らしの 疑問に目を向けてみましょう！

大阪大学は以前から学連携・社会共創に力を入れてきました。各キャンパスで行われている様々な市民向けのイベント等はその一環です。ただ、総合大学としての大阪大学に所属する多種多様な分野の研究者の話をまとめて聴ける機会はそう多くはありません。大阪大学のアウトリーチ活動の取りまとめ役とも言える21世紀懷徳堂が最も力を入れているイベント「大阪大学公開講座」は、まさに、この「多様な視点からの考察」を市民のみならず老若男女、中高生・学生・社会人・シニア世代まで、世代や立場を問わずに提供できる機会として続けてきたものです。今年も分野の垣根を越えて10名の研究者が登場いたします。今回のテーマは「21世紀懷徳堂発！世界を読み解く10の視点～暮らしと未来を考える」ということで、私たちの身近な暮らしや未来に関する様々な疑問を提示し、それを一緒に読み解いていく講義を用意しました。多くの方にご参加いただき、私たちが向き合うべき課題のことを共に考えていただきたいと思います。



村村 景子
大阪大学理事／
21世紀懷徳堂学主

【注意事項】
・荒天など、受講者や講師等の安全の観点から必要と判断する場合、講義を休講いたします。休講する場合は、大阪大学21世紀懷徳堂ウェブサイトにてお知らせいたします。
・休講の場合は、原則として日程を振り替えて講義を行います。なお、振り替えた講義にご欠席される場合にご返金はいたしません。

講義一覧 [全10講義受講の申込締切日：9月21日(月・祝)]

第1回

9月28

18:30～20:00

ほ乳類の性はいつどこでどのように決まるのか？

私たち人間を含めたほ乳類は、生まれる前にオスになるかメスになるかが決まります。いつどこでどのようにほ乳類の性が決まるのでしょうか？マウスを使った研究で得られた最新の成果を紹介するとともに、性の存在意義について皆さんと考えます。

個別受講申込締切日：9月21日(月・祝)



たちばな まこと
立花 誠 教授
生命機能研究科 生命機能専攻
細胞ネットワーク講座
(エビゲノムダイナミクス研究室)

第2回

10月7

18:30～20:00

あなたの情報を守る暗号のしくみ

スマートフォンやメッセージアプリ、オンライン決済、クラウドサービスなど、私たちの情報は日々さまざまな場面で暗号技術によって守られています。本講義では、あなたの情報を守る暗号の基本的なしくみを、身近なサービスの例を交えながらわかりやすく解説します。

個別受講申込締切日：9月30日(水)



いそべ たかのり
五十部 孝典 教授
情報科学研究科
マルチメディア工学専攻
暗号基盤講座

第3回

10月14

18:30～20:00

生殖細胞をつくり、発生と遺伝の原理を探る

生殖細胞系列は、遺伝情報を次世代へ受け継ぐ唯一の細胞系列です。本講義では、ES・iPS細胞から卵子や精子を作り出す体外培養系を中心に、生殖細胞分化の仕組みと体外配偶子形成の可能性を紹介します。

個別受講申込締切日：10月7日(水)



はやし かつひこ
林 克彦 教授
医学系研究科 医学専攻
ゲノム生物学講座(生殖遺伝学)

第4回

10月27

18:30～20:00

やわらかい物質と分子のダンス

～流れる・伸びる・戻る世界

餅、マヨネーズ、化粧品、ゴム、プラスチックなど、身のまわりには「やわらかい物質」があふれています。流れる、伸びる、戻る、壊れる——そのふるまいを分子の動きから考えるレオロジーの世界を紹介します。

個別受講申込締切日：10月20日(火)



まつみや ゆみ
松宮 由実 教授
理学研究科 高分子科学専攻
高分子構造・物性・機能論講座

第5回

11月4

18:30～20:00

日本ではゲノム編集食品がすでに商品化されていることをご存知でしたか？

「ゲノム編集食品」という言葉をメディアで耳にしたことがある方も多いかと思います。遺伝子組換え(いわゆるGMO)とは何が違うのか？、どのような技術なのか？、どのようなものがすでに流通しているのか、あるいは、開発段階にあるのか？についてお話しします。

個別受講申込締切日：10月28日(水)



せき ひかる
関 光 教授
工学研究科
生物工学専攻
生物工学講座(細胞工学領域)

第6回

11月18

18:30～20:00

人の流れを科学する
～災害時の避難から日常の混雑解消まで

本講義では、コンピュータを用いて人の動きを予測するシミュレーションについてお話しします。複雑な地下街での避難誘導や、その結果を可視化して共有する取り組みに加えて、イベント時や観光施設におけるスムーズな群集マネジメントまで、安全で快適な空間づくりのアプローチをご紹介します。

個別受講申込締切日：11月11日(水)



やすふく けんすけ
安福 健祐 教授
D3センター
サイバーコミュニティ研究部門

第7回

11月27

18:30～20:00

再生医療のパラダイムシフト

iPS細胞を用いたミニ臓器(オルガノイド)研究を中心として、人工肝臓、移植治療、AI医療など多彩な医療への展開可能性を紹介するとともに、基礎研究から未来の再生医療を創る挑戦をわかりやすく紹介します。

個別受講申込締切日：11月20日(金)



たけべ たかのり
武部 貴則 教授
医学系研究科 医学専攻
ゲノム生物学講座
(器官システム創生学)

第8回

12月4

18:30～20:00

戦争はいかに人を変えるのか
～帰還兵の戦争トラウマと家族の「戦後」

戦地から帰還した数百万の元兵士たちは、いかにして日常を取り戻したのでしょうか。いや、そもそも取り戻せたのでしょうか。本講義では、彼ら自身の葛藤に加えて、その家族が戦後社会で直面した困難や暴力の連鎖に焦点を当て、世代を超えて家庭内に「戦争」が刻み込まれてきた過程を辿ります。

個別受講申込締切日：11月27日(金)



きたむら つよし
北村 毅 教授
人文学研究科 日文学専攻
現代日本学講座

第9回

12月21

18:30～20:00

「何でも見てやろう」の時代
～20世紀日本の世界旅行とその変遷

小田実の世界旅行記『何でも見てやろう』がベストセラーになったのは1961年のこと。日本で海外渡航が自由に認められる3年前です。ただし、「世界」を見ること、それに学ぶことは、戦前から「洋行」という形で求められていました。実は小田実もそんな洋行の承諾に連なっています。20世紀の日本ではどんな「世界」を見てこなければならなかったのか、その変化をたどります。

個別受講申込締切日：12月14日(月)



はしもと ゆみつ
橋本 順光 教授
人文学研究科 人文学専攻
文学・言語学講座

第10回

12月25

18:30～20:00

懷徳堂にゆかりある人々と江戸時代の大坂市場

大坂の学問の府であった懷徳堂は、その経営を豪商たちに支えられていました。学智と経済が交流する場で、学主の中井竹山をはじめ、両替商であり知識人でもあった鴻池の草間直方や升屋の山片蟠桃らは、大坂市場をどのように捉えていたのでしょうか。彼らの眼をとおして江戸時代の社会経済に迫ってみましょう。

個別受講申込締切日：12月18日(金)



すずき あつこ
鈴木 敦子 助手
経済学研究科
資料室

募集要項

1. 対象者および定員

【対象者】一般／高校生以下(興味をお持ちの方はどなたでも)

【定員】会場受講：一般 100名／高校生以下 30名

オンデマンド配信：定員無し

※事前申込制。

※講義資料は、当日会場に参加した方にのみ配布します。

※会場でのご参加は16歳以上の方とさせていただきます。16歳未満の方は、保護者同伴でご参加いただく(その場合は保護者の方も要申込)、アーカイブ配信にてご受講ください。

2. オンデマンド配信

会場開催の翌週、講義の様子を撮影した動画を1週間限定で配信します(本講座の申込者のみ視聴可能)。

※視聴するには、パソコン、タブレット、スマートフォン等、動画視聴サービスを視聴できる端末と回線(Wi-Fi等)が必要です。

※配信URLを第三者と共有することはおやめください。

※動画のダウンロードはできません。

3. 講習料

【一般】全10講義受講：7,700円、1講義ずつの選択受講：1,600円(1講義あたり)

【高校生以下】無料

※講習料のお支払いについては、「5. 申込方法」をご参照ください。

※一旦お支払いいただいた講習料は返金いたしかねますのでご了承ください。

※講習料のお支払い後の変更はできませんので、受講内容をよくご確認くださいの上、お申込みください。

※現金でのお支払いは一切受け付けをしておりませんので予めご了承ください。

4. 会場

大阪大学中之島センター 10階 佐治敬三メモリアルホール

〒530-0005 大阪市北区中之島 4-3-53

電車：京阪中之島線 中之島駅・渡辺橋駅 徒歩約5分ほか

バス：大阪市バス(53系統)ほか



大阪大学中之島センター外観

5. 申込方法

公開講座特設サイトの申込フォームよりお申込みください。

(以下のURLまたは右側の二次元バーコードよりアクセス。)

なお、申込時には利用者登録が必要となります。

https://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/koukaikouza_r08/

※上記以外の方法(電話・FAX・郵送など)によるお申込みは受け付けておりません。



6. 申込締切日

全10講義受講 9月21日(月・祝)

1講義ずつの選択受講 講義一覧(左面)のとおり

※先着順

7. 受講証書

全10講義をすべて受講し、各講義のアンケートにすべてご回答いただいた方には、受講証書を交付します。

最終講義(第10回)のアンケートを現地会場にて紙面提出される方には、講義終了後に現地受付にてお渡しします。

WEBで提出される方には、配信期間が終了してから数日後、ご登録いただいたメールアドレスにPDFデータをお送りします。

8. お問い合わせ先

大阪大学共創推進部社会連携課 公開講座担当

koukaikouza@21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp

『第57回大阪大学公開講座アーカイブ配信(2025年度)』実施中！

7月31日(金)～9月30日(水)限定で2025年度開催の講義をご視聴いただけます。

詳細はこちらをご確認のうえ、お申し込みください。

https://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/koukaikouza_r07/

